



パースならではの“門出”体験

その2

2人目は、矢野淳子さんに体験してもらいました。オーストラリアのライフスタイルを理解しながら実践し、読者の皆さんもパースならではの“門出”をしてみてください！

今回協力して頂いた読者モデル

ヤノ ジュンコ
矢野 淳子さん 27歳

日本では4年間、カフェで働きながら多忙な日々を送る。海外でゆったり暮らしたいという想いから、以前旅行をして気に入ったオーストラリアを選び、渡豪。他都市、ファームでの生活を経験し、現在は自身が一番気に入ったパースでゆったりとした時間を過ごす。



1日のスケジュール

- 7:00 am 起床
- 8:00 am 家族や恋人の写真を飾る (P13 12 参照)
- 9:00 am スポーツクラスに参加する (P12 8 参照)
- 11:00 am 計画を立てずに旅をする (P12 6 参照)
- 3:00 pm 異文化交流をする (P11 4 参照)
- 6:00 pm 的を射た勉強をする (P13 9 参照)
- 8:30 pm ネット環境を整える (P14 13 参照)
- 9:30 pm 就寝前にストレッチをする (P11 1 参照)
- 10:00 pm 就寝

8:00 am



家族や恋人の写真を飾る (P13 12 参照)

「今まで日本で一人暮らしをしていたこともあります。こんな経験はありませんね (笑)」と矢野さん。家族写真に見守られ、恥じらいながらも「でも距離が離れているからこそ、これもありますね」と話していました。

9:00 am



スポーツクラスに参加する (P12 8 参照)

普段から運動はしているものの、以前から興味があったスポーツクラスに参加するのはこれが初めての矢野さん。今回は太極拳 (Tai-Chi) に挑戦。「思ったよりも参加するのが簡単で、初めてでもすんなり溶け込めました。太極拳体自体も楽しかったです」と他のスポーツクラスに参加するきっかけになった様子でした。

11:00 am



計画を立てずに旅をする (P12 6 参照)

目的地を決めず、とりあえずバスに乗った矢野さん。「人目を気にしなくてもいいことは、オーストラリアのいいところ。化粧もあまりせず、服も気にせず外出できるので。これからは大好きなビーチや公園、ワイナリーにも1人でふらっと行ってみたい」と希望を語ってくれました。

3:00 pm



異文化交流をする (P11 4 参照)

「日本にいるときは、周りに気を遣うことも多々ありましたが、オーストラリアでいるんな人種の人と出会い、良い意味で空気を読むことはなくなりました」と徐々にオーストラリアの文化を理解しつつある矢野さん。この日も周りに合わせたりせず、自分の帰りたい時間に店を出ました。

6:00 pm



的を射た勉強をする (P13 9 参照)

日本では、カフェでバリスタとして働いていた。その経験を活かし、パースでも同じような仕事に挑戦したい、という彼女。「カフェの空間とコーヒー作りに集中している時間が、大好きです。特にお客さんの反応と、ラテアートが完成したときにやり甲斐を感じますね」とバリスタに対しての熱意を語ってくれました。

9:30 pm



就寝前にストレッチをする (P11 1 参照)

「運動は本当に大切。オーストラリアに来て改めて気付いたし、この環境があるからこそやろうという気になります」この日は、ストレッチをした影響か、いつもよりもぐっすり眠れたそうです。

8:30 pm



ネット環境を整える (P14 13 参照)

家族へ手紙を出すことは減多になく、基本的にネットでのやりとりが中心だそう。ファームにいるときはネット環境が悪く、家族への連絡を諦めることもしばしば。「今後は環境を整え、何気ないことでも連絡しようと思いますね」と話してくれた。



パースならではの“門出”体験をしてみて、いかがでしたか？

「普段なかなか経験できないことばかりで、新鮮な1日でした。時間に余裕があって、運動環境豊富なオーストラリアのライフスタイルに大賛成です！日本は、便利でご飯が美味しいという良い部分もありますが、わたしにはオーストラリアのゆったりした雰囲気が合っているな、と改めて気付きました。どれも今後取り入れたいことだったのですが、特にスポーツクラブへの参加はこの企画をきっかけに続けてみようと思っています」



編集部
まとめ

本記念号特集『パースとの門出』では、アンケート結果に基づき、パースならではの“門出”を充実させるための提案をさせて頂きました。ぜひ参考にし、“新たな出発”に役立てて頂ければと思います。